



指 導 案

ちゃんと説明できたかな？

1 学習のねらい

分かりやすく説明するためには、

- ・相手の立場に立った説明をすること
- ・見通しをもたせる説明（ルーズ）と詳しい説明（アップ）を組み合わせることが大切だということを理解する。

2 番組活用にあたって

子どもたちが家で学校の話をして、家の人には「何を言っているのか分からない」ということがよくあります。これは、相手の立場に立った説明ができていないからです。ここでは、道案内を例にとって、相手に分かりやすく説明するためのスキルを身につけていきます。

番組では、説明するときのイメージとして、「アップ」と「ルーズ」という考え方を示しています。「アップ」というのは、詳しい説明です。「ルーズ」というのは、相手に見通しをもたせるような全体を見渡した説明です。子どもの説明は、どうしても「アップ」に偏りがちなため、わかりにくい説明になってしまいます。サトルたちの説明を客観的に見ることによって、

- ・まずは、相手に見通しをもたせる説明（ルーズの説明）をしてから
- ・次に、相手の立場に立って詳しい説明（アップの説明）をする

このような順序で説明する方が分かりやすい説明になることに気づかせるとよいでしょう。

カメラワークによって、ルーズとアップの違いが視覚的に捉えられるようになっていきます。これを言葉の世界と結びつけるとルーズの説明とアップの説明をイメージしやすいと思います。

3 指導の流れ

① 説明（道案内）をしたことがありますか。

- ・道案内をしたけれど、あんまりよく分かってもらえなかったような気がする。
- ・集会の時にゲームの仕方を説明したけれどうまくいかなかった。



② 説明する時には、何に気をつければいいのだろう。番組を見てみよう。

1. 番組を視聴する。
2. サトルやリン、シュンの説明は、どこがいけなかったんだろう。
3. 説明するときの「アップ」と「ルーズ」とは、どういうことか考えよう。
4. 説明するときに、「アップ」を使うといいのは、どういう時だろう。
5. 説明するときに、「ルーズ」を使うといいのは、どういう時だろう。
6. アップとルーズという考え方で説明するといいいのは、他にどんなものがあるだろう。



③ 学校から家までの道案内をしてみよう。

1. 自分の家を知らない友達に自分の家の場所を説明しよう。
2. まず、相手にルーズで（見通しを持たせるように）大体の方向を説明する。
3. 相手が大体を理解したら、アップ（近隣の様子など詳しく）で説明する。